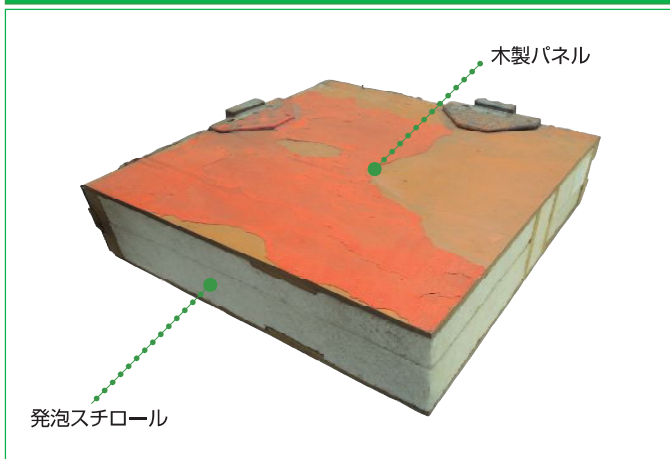


発泡スチロール(EPS)断熱材は 長期に渡って断熱性能を維持

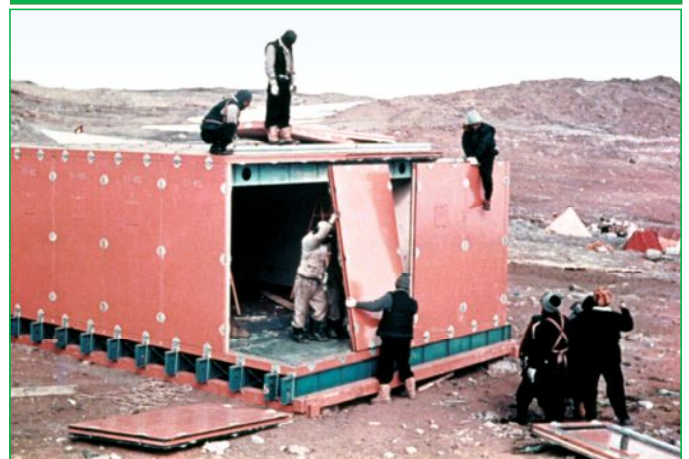
南極の昭和基地で40年間の風雪に耐えた観測用の木造建物が日本に持ち帰られました。外壁、屋根、床に利用したパネルの**発泡スチロール(EPS)断熱材**の厚さは100mmで樺合板でサンドイッチにした形状。竹中工務店技術研究所と日大理工学部で調査の結果、壁や屋根の断熱性能は建設当時と比べほとんど劣化していないことがわかりました。

南極昭和基地壁面



所蔵：船の科学館

第一次隊建設風景



写真提供：平山善吉

EPS 断熱材の熱伝導率の経時変化

出典名 建築技術 2001.2月号

